

平成27年度事業計画書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人病理技術研究会

1 事業の成果

平成27年度は、ホームページを改変してさらに内容ある病理技術研究会ホームページとして一般の市民に対し情報提供事業を実施したい。また、今までに発行された当会学会誌のすべてをPDF化してホームページ上で会員のみ閲覧できるようにしたい。

本年度は、2年に一度の役員改選時期に伴い、人事を刷新し、役員の若返りを実施したい。当会の定款12条によれば、理事は5～10人、監事は1～3人となっている。今回の人事においては、理事の人数を増やして、理事長、事務局長、運営委員長、編集副担当、会計副担当の改選を実施する。前任の理事長は、現在1人いる監事とともに当会の運営の監視役として2名体制とする。

病理技術に関する研究会開催事業を行い、病理技術関連業務に従事あるいは学ぼうとする者に対して病理技術の進歩と知識の向上および最新技術情報交換などの事業を展開する。

8月2日(日)に第92回日本病理組織技術学会の開催を予定している。一般演題、情報コーナー、特集コーナーとして最新の技術に関して情報交換を実施する予定。

来年3月6日(日)には、第93回日本病理組織技術学会の開催を予定している。一般演題、情報コーナー、特集コーナーに関して企画中で、ギムザ染色コンペを行う予定である。

学会誌発行は、今年度年2回の発行を予定している。また、法人化記念事業として「基礎病理技術学」を平成25年5月に発刊しているが、在庫している書籍の販売が促進し、平成29年度頃をめぐり改訂版の「基礎病理技術学」を発行予定である。今後も、病理技術の基礎を全国の病理検査に勤務する臨床検査技師の方々に情報提供を実施したい。

今年度も当会とサクラファインテックジャパンが力を合わせ、病理組織技術に関する実技実習講座を3回開催する予定。研修会場は、サクラファインテックジャパン株式会社のラボ・スクエア(東京)の会場をお借りして開催する予定。

講師は、臨床検査同学院認定の一級臨床検査士、病理学(Qualified Class 1 Laboratory Technologist in Pathology)による、講義と実習を通して、理論に裏付けされた洗練された技術の伝承にあり、少数精鋭、マンツーマン方式による講義と実習による技術講座を実施し参加者より好評を得ている。

事業名	内 容	実 施 日 時	実 施 場 所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び数	支出額(千円)
病理技術に関する講演会、学術集会の開催事業	病理技術全般に関する研究発表や講演会および情報交換を行う。 (第92回日本病理組織技術学会)	平成27年8月2日(日) 9:30~13:20	慈恵医科大学講堂	実務委員、運営委員 約20名	参加者200名	未定
病理技術に関する講演会、学術集会の開催事業	ラボ・スクエア 実技・実習講座 第13~15回開催	平成27年9・11・2月実施日 未定	サクラファインテックジャパン株式会社 ラボ・スクエア	実務委員、運営委員 約10名	参加者 各回8名	未定
病理技術に関する普及啓発事業	平成27年開催の研究会での講演、発表の原著並びに特集の記録誌の発行。 (第91,92回日本病理組織技術学会)	平成27年7月下旬以降2回 予定	出版社より郵送による情報提供	編集委員・査読委員10人	一般市民対象:600部	未定
病理技術に関する講演会、学術集会の開催事業	病理技術全般に関する研究発表や講演会および情報交換を行う。 (第93回日本病理組織技術学会)	平成28年3月6日(日) 9:30~15:00	慈恵医科大学講堂	実務委員、運営委員 約20名	参加者200名	未定

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	支出額 (千円)
病理技術研究会で 発行した雑誌のPD F化とホームペー ジへの掲載	平成27年度運用開始に向けて今まで発 行された雑誌をPDF化してホームペー ジ掲載（会員専用サイトの構築）	未実施			1000
病理技術やその他 の刊行物発行事業	平成25年度発行に向けての病理技術の 基礎的技術書のDVD発行準備予定 （病理組織技術に関するテキスト平成 27～28年度編集予定）	未実施			500
電子メディアを利用 した病理技術に 関する情報提供事 業	平成27年度に運用開始に向けて病理技 術ホームページに基礎技術の解説ムー ビーを編集作成し掲載準備予定（会員 専用や一般公開用サイト構築中）	未実施			500